

## &lt;Work&gt; ✕ &lt;VACATION&gt;



やまがたワーケーション新幹線

ビジネス車両 リフレッシュ車両

バーカウンター

WiFi環境完備

足湯

Y やまがた  
W ワーケーション  
S 新幹線

「動くオフィス」・「動くワーケーション施設」  
・メインターゲットは丸の内ビジネスパーソン  
=集中したいときに乗車

・上野駅 ⇒ 山形県内  
・疲れたらバーカウンター、足湯で休憩

## ストーリー

「ワーケーション」。ワークとバケーションを組み合わせたこの造語に、大きな注目が集まっています。一方で、コロナ禍の拡がりによって一気に広まったテレワークやオンラインミーティング。特に、都市部では在宅勤務を経験された方も多く、オンラインミーティングは全世界で日常になっており、ワーケーション導入のハードルは一気に下がりました。

山形でのワーケーションをイメージしたときに、その価値はイノベーション=新結合であると思います。

山形は、東京から概ね300km、山形新幹線で約3時間の距離で鮮やかな四季が広がっています。秀麗な山々に囲まれ、美しい自然に恵まれています。山形新幹線の沿線には、コワーキングスペースが点在しており、その近くには温泉やホテルがあります。コワーキングスペースや温泉、ホテルがある土地が各地にあります。

3時間というまとまった時間は、資料作成やミーティングを1つ終わらせ、休憩をとることのできるちょうどよい時間です。まとまった仕事を終わらせ、コーヒーを飲みながら車窓からの移り行く風景、旅情を楽しむことができるちょうどよい時間です。

山形県では、この4月から山形駅直結の霞城セントラルを拠点としてV-tuberが司会をするオンラインでのビジネスコミュニティが生まれています。これをきっかけとしてつながった県内外の方々と、山形県内で出会う絶好のチャンスとなります。加えて、“ものづくり県山形”の地元経営者たちと交流の場も設定する予定です。

利用される方々にとっては、お一人でも職場の仲間と一緒にでも、非日常的な体験を通じ、普段と違った視点からビジネスを見つめ直すチャンスとなります。

「とれいゆつばさ」を活用することで、乗った瞬間から山形を感じ、山形に触れながら、やまがたワーケーションがスタートします。車内は、シェアオフィスのようにであり、交流を通してイノベーションを生み出しながら、まずはモビリティを楽しむことから体感していただけます。

「会社は都市部で、地方で仕事」「住まいは都市部で、地方で副業」といった多様な働き方を生み出すきっかけとして、また、気分を変えて、集中して仕事をする機会として、ぜひやまがたワーケーション新幹線をご利用いただければ幸いです。